| | | | | | <u>事務事</u> | <u> 業マネジ</u> | メントシー | | | | | | | | |
|-------------|--|--------------------------------------|---|---|---|------------------------------------|--------------------------------------|------------------|--|---|--|---|--|--------------------------------|--------------------------------------|
| | 事業名 | ユニバーサル都 | 市・福岡の推 | 推進 | | | | | | つかけ)は何 | | | | | |
| | | 40.75 A = 5 A = 5 | -m +t += A | ml | | | | | | | | | らし、訪れる様 | 々な人々の値 | 価値観やライ |
| | 所管課 | 総務企画局企画 | | 果 根拠法令 | | なし | 景 ^{ノヘダ} | 1 /レ _ | - 刈心りる | まちづくりがま | 米められて | こいる。 | | | |
| | 始年度 | 平成23年度 | 行政計画 | | なし | | | | | | | | | | |
| | 業概要 | : <u>】</u> 対象として行うの: | 6 \ | | | 会和2年度 | 目的達成に向 | ナナビ | この トラナン | 七辻で何た年 | こったのか | | じの トニナ | 小なおにしょう。 | - こ 古 米 ナ 幼 |
| | | 域、企業、学校など | | | | | サル都市・福岡 | | | | | | <u> </u> | 状態になった ハ、又は継続 | こり手来を終 するのか |
| 対象 | 111 177 / 161 | は、正未、子仅なり | _ | | 実 | 〇 | ニバーサルマナ | ·一検5 | ッホース 定の実施 | ころの日次 | 省元 | | 本 | | なにやさしい |
| <i>></i> | | | | | 施 | 0「ユニバー | サル都市・福岡 | 引公式 | 式インスタ | グラムの運用 | Ħ | | | | 岡」の実現を |
| | 対象をど | のような状態にした | たいのか | | 一 | | 向けホームペ・ J等を活用した。 | |)周知 | | | | | 続して事業を | |
| 車 | 市民等が | 、ユニバーサルデ | ザインの考 | え方を理解し | 、誰も | 〇甲政により | | 5 光 | | | | | - < o | | |
| 尹業 | グ・心でいる | りを持ち、すべての | の人にやさし | いまちになっ | , CO. II | 〇小学4年生 | 三向け副読本の | | | | | | 統 | | |
| ·業目的 | る。 | | | | | | ナの研修(新規 | 採用單 | 職員研修、 | 、eラーニング |))及び市員 | 民向け出 | 継 続 検 討 | | |
| 的 | | | | | | 前講座(5回) |)の美施 | | | | | | 討 | | |
| | | | | | | | | | | | | |) | | |
| <u>[</u> | ジックモ | <u>:デル・指標のi</u> | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①活動アウトプ(どんな活動を行 | | | | 結果アウトプット 吉果、どうなる | | | (その: | ③中間7' 結果、対象は | | かかり | | ⊕最終アウトカ。 、市としてどう | |
| | | い市民への様々な | | · 啓発 \ OB | 【/ロ男ルノ | | | 10 | | 和末、対象に ナでなく、市」 | | | 〇みんながり | | |
| | 〇市民等 | こ身近な場所での啓 | 発 | を理 | 2解する | | | | | ユニバーサル | | | い「ユニバー | | |
| 事 | ○小字生 | 句け副読本の作成・♪ 句け研修の実施 | 配布 | | 「民等がユニバト ト学生がユニバ | ーサルテサイン ーサルデザイン | ノに触れる ノについて学ぶ | | | て十分に理解 | 乳、具体 | | し、市民の生 | | の魅力が向 |
| | | ユニバーサルマナー | 検定の実施 | TO T | 「職員がユニバ· | ーサルデザイン | | 組 | みを行っ | っている。 | | | 上する。 | | |
| フ コ | | | | / L. | 業務に取り入れ | <i>,</i> 6 | | , | | | | , | | | |
| ΙĻΙ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | と年の十六 | | 実 | 績 | | 標 | | م عدا ملا | <u> </u> | | 実 | 績 | E | 標 |
| | ‡ | 指標の内容 | 年度 | 実 R2年度 | 績 R3年度 | 目 R 4 年度 | Ⅰ標 ■ 最終年度 | 成 | 指標の | の内容 | 年度 | 実 R2年度 | 積 R3年度 | R4年度 | 目標 ■ 最終年度 |
| (口) | | 指標の内容 ・・・・・福 | 年度目標 | | | | | 成 果 ユ | | | 年度 目標 | | | - | |
| 一 (ロジッ | ユニ/ 岡の口 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | R2年度 | R3年度 | | 最終年度 | 果 の | Lニバー リ | ナルデザイン | | R2年度 | | - | 最終年度 R6年度 |
| ッ | ユニ/ 岡の口 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目標 実績 達成率 | R 2年度 1,000.0 | R 3年度 1,000.0 | | 最終年度 | 里 | Lニバー リ | | 目標 実績 達成率 | R 2年度 65.0 | R3年度 - | - | 最終年度 |
| ックモデ | ユニ/ 岡のロ 箇所数 の | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目標 実績 達成率 目標 | R2年度 1,000.0 6,704.0 | R 3年度 1,000.0 6,840.0 | | 最終年度 | 果 の 指 標 | レニバーサ の概念の | トルデザイン の理解度 | 目標 実績 達成率 目標 | R2年度 65.0 58.3 | R3年度 - | - | 最終年度 R6年度 |
| ックモデ | ユニノ 岡のロ 箇所数 の 指 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目標 実績 達成率 目標 実績 | R2年度 1,000.0 6,704.0 | R 3年度 1,000.0 6,840.0 | | 最終年度 R 年度 | 果の指標へ | Lニバーサ の概念の | トルデザイン の理解度 トルデザイン | 目標 実績 達成率 目標 実績 | R 2年度 65.0 58.3 89.7% | R3年度 - | - | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 |
| ックモデル | ユニ/ 岡のロ 箇所数 の | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目標 実績 建成率 目標 実績 達成率 | R2年度 1,000.0 6,704.0 | R 3年度 1,000.0 6,840.0 | | 最終年度 R 年度 - R 年度 | 果の指標へ | Lニバーサ の概念の | トルデザイン の理解度 | 目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 | R 2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 | R3年度 - 57.5 - | - | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデ | ユニノ 岡のロ 箇所数 の 指 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目標 実績 達成率 目標 達成率 目標 | R2年度 1,000.0 6,704.0 | R 3年度 1,000.0 6,840.0 | | 最終年度 R 年度 | 果の指標(KPI | Lニバーサ の概念の エニバーサ の取組み | トルデザイン の理解度 トルデザイン トへの評価 -サル都市・ | 目標 実成標 実成標 達成標 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - | - | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 |
| ックモデ | ユニノ 岡のロ 箇所数 の 指 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目標 実成率 目標 実成標 達成率 目標 | R2年度 1,000.0 6,704.0 | R 3年度 1,000.0 6,840.0 | | 最終年度 R 年度 - R 年度 | 果の指標(KPI | Lニバーサ の概念の Lニバーサ の取組み 「ユニバー 冨岡」のロ | トルデザイン の理解度 トルデザイン トへの評価 ーサル都市・ ロゴマークの | 目実成標 実成標 ま成標 ま成標 ま成標 積率 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 | R3年度 - 57.5 - | - | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデ | ユニノ 岡のロ 箇所数 の 指 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目標 実績 達成率 目標 達成率 目標 | R2年度 1,000.0 6,704.0 | R 3年度 1,000.0 6,840.0 | R 4年度 - | 最終年度 R 年度 - R 年度 | 果の指標(KPI | Lニバーサ の概念の Lニバーサ の取組み 「ユニバー 冨岡」のロ | トルデザイン の理解度 トルデザイン トへの評価 -サル都市・ | 目実成目実成 目実成標績率 標績率 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | - | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデ | ユニノ 岡のロ 箇所数 の 指 | ドーサル都市・福 コゴマークの掲出 数 | 目標 実績 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 国標 達成率 | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% | | 最終年度 R 年度 - R 年度 | 果の指標(KPI | レニバーサ の概念の レニバーサ の取組み 「ユニバー 冨岡」のロ 認知 | トルデザイン の理解度 トルデザイン トへの評価 ーサル都市・ ロゴマークの 知度 | 目実成目実成目実成標績率 建成標績率 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | - | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデ | ユニノ 岡のロ 箇所数 の 指 | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 数 | 目標 実成率 目績 達成標 実成標 実成標 実成標 実成 標 達成 標 達成 平 ※ | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% | R4年度 - 事業区分 画 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 | 果の指標(KPI | レニバーサ の概念の レニバーサ の取組み 「ユニバー 冨岡」のロ 認知 | トルデザインの理解度 トルデザイントへの評価 ーサル都市・コマークの知度 | 目実成目実成目実成標績率 標績率 標績率 標績率 標績率 見 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | R 4年度 | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデルン | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 放 | 目標 実績 達成率 目標 達成率 目標 達成率 目標 達成率 国標 達成率 | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% 計 ニバーサルデ | 84年度 - 事業区分 画 ザインの概念 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 | 果の指標(KPI | レニバーサ の概念の レニバーサ の取組み 「ユニバー 冨岡」のロ 認知 | トルデザイン の理解度 トルデザイン トへの評価 ーサルを ロゴ度 令和3年度決 歳出合 | 目実成目実成 目実成 領領 集積率 算計 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | - | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデルン | ユニノ 岡のロ 箇所数 の 指 | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 数 主 1 再 - | 目標 実成 標 達成 標 達成 標 達成 標 達成 標 達成 標 -1-1 | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% | 84年度 - 事業区分 画 ザインの概念 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 | 果の指標(KPI | レニバーサ の概念の レニバーサ の取組み 「ユニバー 冨岡」のロ 認知 | +ルデザイン の理解度 +ルデザイン +への評価 -サルークの 知度 令和3年度出 歳 特定 | 目実成目実成目実成 領計 財 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | R 4年度 | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデル) 施 | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 数 主 1 再 - | 目標 実成率 目積 達成標 達成率 1 実積 達成率 | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% 本 施策成里 ユニ | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% 計 ニバーサルデ・ 24年度:70% | R4年度 事業区分 画 ザインの概念) ザインの取組 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 の理解度 | 果の指標(KPI | レニバーサ の概念の レニバーサ の取組み 「ユニバー 冨岡」のロ 認知 | トルデザイン の理解度 トルデザイン トルデ評価 ーサル都市・コゴ度 令和3年度決 歳出合 | 目実成目実成目実成 領計 財 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | R 4年度 | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデル) 施 | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 数 主 1 再 - | 目標 実成率 目積 達成標 達成率 1 実積 達成率 | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% 本 施策成里 ユニ | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% 計 ニバーサルデー 024年度:70% | R4年度 事業区分 画 ザインの概念) ザインの取組 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 の理解度 | 果の指標(KPI | レニバーサるの概念の レニバーサみの取り 「ユニバーロの記録」 | +ルデザイン の理解度 +ルデザイン +への評価 -サルークの 知度 令和3年度出 歳 特定 | 目実達目実達 算計財財 標績率 算計 源源 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - 事業費(千円) | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | R 4年度 8,311 0 | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデル) 施分 | 活動の指標 | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 数 主 1 再 - | 目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 目標 実績 連成率 | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% 施策成果 でいる まづくり 指 | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% 計 ニバーサルデ・ 24年度:70% | R4年度 事業区分 画 ザインの概念) ザインの取組 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 の理解度 | 果の指標(KPI | レニバーサるの概念の レニバーサみの取り 「ユニバーロの記録」 | トルデザイン の理解度 トルデザイン トルで評価 ーサマー ・サンマー ・サンマー ・カコ度 令和3年度出 ・歳 ・、 トー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 目実達目実達 算計財財・選標績率標績率 見 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - 事業費(千円) | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 | R 4年度 8,311 0 8,311 | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデル) 施分 | 活動の指標 コークロード アカード アカード アカード アカード アカード アカード アカード アカ | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 数 | 目標 実成率 目標 実成標 実成標 実成標 実成標 実成 標 実成 標 実成本 コー1ー1 によるに輝いの理念によるままれ 市・福岡の 担 によるまれ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% 施策成果 でいる まづくり 指 | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% 計 ニバーサルデ・ 124年度:70% ニバーサルデ・ 124年度:65% | R4年度 事業区分 画 ザインの概念) ザインの取組 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 の理解度 | 果の指標(KPI | レニバーサるの概念の レニバーサみの取り 「ユニバーロの記録」 | トルデザイン の理解度 トルデザを トルデザーイン トルの都市・ ゴカ度 令和3年度 歳 特定 最 一般 前年度決額 | 目実達目実達 算計財財・ 環境率標績率 現 領域 原 領域 原 領域 原 年 日 東 東 田 東 田 東 田 東 田 東 田 東 田 東 田 東 田 東 田 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - 事業費(千円) 類) | R3年度 - 57.5 - - 54.0 - - 58.4 - | R 4年度 8,311 0 8,311 | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |
| ックモデル) 施 分 | 活動の指標 コークロード アカード アカード アカード アカード アカード アカード アカード アカ | ドーサル都市・福コゴマークの掲出 数 | 目標 実積 達成率 目積 準 | R2年度 1,000.0 6,704.0 670.4% 670.4% | R3年度 1,000.0 6,840.0 684.0% 計 二バーサルデ・ 024年度:70% ニバーサルデ・ 024年度:65% | R4年度 事業区分 画 ザインの概念) ザインの取組 | 最終年度 R 年度 R 年度 R 年度 の理解度 | 果の指標(KPI | レニバーサるの概念の レニバーサみの取り 「ユニバーロの記録」 | トルデザインの理解度 トルデザ度イントへのからでは、 トルで評価・リゴカーサイントへのからでは、 サルマー・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カーのののでは、 ・カー・カー・カーのののでは、 ・カー・カーののでは、 ・カー・カーののでは、 ・カー・カーののでは、 ・カー・カーののでは、 ・カー・カー・カーののでは、 ・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ | 目実達 実達 算計財財 計標績率標績率 現 | R2年度 65.0 58.3 89.7% 58.0 44.3 76.4% - 54.2 - 事業費(千円) 類) | R3年度 - 57.5 - 54.0 - 58.4 - | R4年度 - - - 8,311 0 8,311 | 最終年度 R6年度 70.0 R6年度 65.0 |

| | | | | | <u> </u> | 事業マネジ | <u>ジメントシー</u> | <u>ト (令</u> : | 和3年度実施 | (分) | | | | |
|---------|--------|-------------------------------------|-----------|------------------|------------------|----------------------|---------------------|-----------------|-----------------------|---------------|----------------------------|----------------------------------|----------------------------|---------------|
| | 事業 | 農山漁村地域など | ご市街化調 | 整区域の活性 | 化 | | | | 由(きっかけ)は何 | | | | | |
| | 尹禾 | | | | | | 背農山漁 | 村地域な | ど市街化調整区域 | は、自然と | とまちの調和が | とれたコンパク | 小な都市を形 | 成するうえで |
| | 所管 | 课 総務企画局企画 | 調整部企画 | 回課 根拠法令 | | なし | 景大変重 | 要な役割 | を担っているが、人 なな課題を抱えて | (口減少や | 高齢化の進展 +ルの取組21 <i>+</i> | 等に伴い、農る | 林水産業の振 いる | :興やコミュニ |
| | 開始年 | | 行政計画 | 画 | なし | | 710 | 雅付 ひとだ | では味趣を抱えり | このり、泊15 | 11100以祖のん | い必安となって | いる。 | |
| | 事業 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 可)を対象として行うのか | | | | | | | うな方法で何を行 | ったのか | | | | ら事業を終了 |
| 対 | | 魚村地域など市街化調整「 | 区域 | | 実 | | まちづくり活動の | | ・ た具体的な活動(産 | で古古たど) | の支煙を | 果 ずるのか、 | 又は継続する | |
| 象 | | | | | 施 | | 生1万し、地域の元 | ILLICICINI | た 一般的な加動(原 | 三臣 川 ゆこ / | 07又1反己 | | 活かした新たな | |
| | | | | | 内 | ②空き家・空き | | | 1.0×10+11+11 | ~ 十加白 | -114.11 * | などの地域 | 産業の振興が | 図られるととも |
| | 116.4- | をどのような状態にした | | 00 7. LSH L > 1a | 容 | | ル進出元となる3 ・整理及び事業 | | 也の発掘を目的とし を行った。 | (、心貝島・ | 北崎の物 | | 促進され、地域 | |
| 事 | z | において活性化に向けた | 土体的な取 | (組みか進められ | 手 | ③事業者への | ヒアリング(進出 | 意向等) | | | | 継続された状態 | | など課題が解消 |
| 業目 | ・農山 | 漁村地域でのビジネス展 | 開について | 、事業者からの | 相談· 段 | │ 規制緩和の制 │喚起を行った。 | | の魅力につ | いて情報提供を行い | 、民間事業 | 活の需要 | 続 | · | |
| 的 | 1/4 | などが行われている。 住民と事業者のネットワー | クが生士を | 1 事業化に向け | +t-7" | ④地域と事業 | 者のマッチング | | | | | 検 討 | | |
| | | が行われている。 | ノル・エムイ | 6、事本旧[6][7] | | 進出意向の | ある事業者と地域 | 域の対話の | 易を設定した。 | | | | | |
| <u></u> | 700 | クモデル・指標の遺 | E 示: 由: 1 | | | | | | | | | | | |
| | | <u>フェアル・日保の</u> ① 活動7 ウトプ | | | (2 | 結果アウトプット | | | ③中間7 | ウトカム | | | ④最終7ウトカル | |
| | | (どんな活動を行う | うのか) | | (活動の | 結果、どうなる | らのか) | | その結果、対象に | tどうなる(| | (その結果 | 、市としてどう | うなるのか) |
| 事 | | 注体のまちづくり活動のす 家・空き地等の発掘 | と援 しゅうしん | | | 化に向けた意欲 | | ・地域にられてい | おいて活性化に向けた | 主主体的な取 | | ・地域資源を活れ、農林水産業 | かした新たなど | |
| 業 | | ぁ・空さ地寺の先掘 :者へのヒアリング(進出意 | (向等) | | 山漁村地域に 催保される。 | 関心を示す事業 | (有等の進田尤 | ·地域の | 空き地・空き家の情報 | が随時集約さ | される。 | れ、展体が座系 活性化が図られ | | 興なと、 地域の |
| フ | | と事業者のマッチング | | | | 象地域への関心 | | ・農山漁の相談 | 村地域でのビジネス展提案などが行われてい | 関について、 いる。 | 事業者から | 新たなビジネス | スが地域の雇用 | を生み、定住 |
| P | | | | 地 | 域住民と事業を | 当が繋がる機会 | が生まれる。 | ・地域位 | 民と事業者のネットワ | ークが生まれ | 、事業化に | 人口が増加する | 5 . | |
| | | | | | | | | 「同けた | アッチングが行われてレ | ١ ۵. | , | | | |
| | | 指標の内容 | | 実 | 績 | E | 標 | 成 | 指標の内容 | | 実 | 績 | E | 標 |
| ジッ | | 担保の内谷 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R 4 年度 | 最終年度 | 木 | 旧保の内谷 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 |
| | | 也域において実施され | 目標 | 10.0 | 10.0 |) | R 年度 | 指地域 | ニ事業者のマッチ | 目標 | 3.0 | 2.0 | | R 年度 |
| E | | 会合等への参加件数 | 実績 | 8.0 | 10.0 | 10.0 | _ | I | - 乗来省のマケア ング支援数 | 実績 | 1.0 | 2.0 | 2.0 | _ |
| | 指_ | | 達成率 | 80.0% | 100.0% | b l | | $\hat{\varphi}$ | | 達成率 | 33.3% | 100.0% | | |
| Ü | 一種 | | 目標 | 30.0 | 30.0 | | R 年度 | N P 細re: | 氏用による施設立 | 目標 | 1.0 | | | R 年度 |
| | | 実施 | 実績 | 54.0 | 30.0 | 30.0 | _ | | 申請の件数 | 実績 | 1.0 | 3.0 | 1.0 | _ |
| | | , <u>-</u> | 達成率 | 180.0% | 100.0% | | | <u> </u> | | 達成率 | 100.0% | 300.0% | | |
| | | | | | | 事業区分 | 重点 | | | | 事業費(千円) | | | |
| | | 基 | ; | 本 | 計 | 画 | | | 令和3年度決 | 算額(見込 | .額) | | | |
| te | を策コ | 上 主 4 | -4-3 | 施 なし | • | | | | 歳出台 | 計 | | | 7,028 | |
| , J | 也來一 | 再 - | | 策 | | | | | 歳特定 | 財源 | | | 0 | |
| 分 | 野別 | 目標 人と地球にやさしい、持続可能 | 能な都市が構築る | 成 果 | | | | | 入 一般 | 財源 | | | 7,028 | |
| | 施第 | まちと自然が調和した福岡雪 | 型のコンパクトな | 都市づくり指 | | | | | 前年度決算都 | 要年度 | 予算額 | | | |
| | 事業 | 豊かな自然を活かした市 | 街化調整区域 | の活性化 | | | | | 年度 | Ę | R2 | R | 4 | |
| | | | | 行政運営プラ | ン | | | | 歳出台 | 計 | 4,9 | 959 | 7,400 | |
| J | 取組力 | i針 なし | | | | | | | 歳 | 財源 | | 0 | 0 | |
| 1 | 推進項 | i a | | | | | | | 入 一般 | 財源 | 4.9 | 959 | 7,400 | |

7,400

| | | | | | | 事務 | 事業マネジ | メン | シー | ۲ | (令和: | 3年 | 度実施 | (分) | | | | |
|-----|----------------------|------------------|-----------------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|-------------|-----------|--------------|------------|-------------------|------------------------|-------------|-----------|---------------------------|-------------------|
| | 事業 | 夕 | 都心のまちづくり | の推進 | | | | | | | めた理由(| | | | | | | |
| | | | | | | | | | | ßıÙ; | 部の更なる | る賑れ | い創出や | 魅力向上 | をおこなう必要 | 性があった | ため 。 | |
| | 所管 | | 総務企画局企画 | | 12437-1-1 | | なし | 景 | | | | | | | | | | |
| | 別始年 | | 平成17年度 | 行政計画 | 1000 | なし | | | | | | | | | | | | |
| | | 既要 | | | | | | | D | | | | | | | | | |
| | 誰(1 | 可)を | 対象として行うのか |)\ | | | 令和3年度、 | | | | | | | | m+ 1 44 4. | 成 するのだ | な状態になった | ら事業を終了 |
| 対 | 都心 | 当 | | | | 1 1 | 天神地区・‡ | 専多駅: 協 同: | 地区にお | らい | て、地域・ | 企業 セキァ | などか会身 Ctal sta | 貝となつて、 この羊ル | 、魅力的なした。 | 果 9 るのな | 、又は継続する | |
| 象 | | | | | | | 活動等のまち | づくり | 近回で 活動を実 | こんと | 人口にいるエ | リア | マネジメン | ト団体(天 | 神地区: | 4 た白主目 | ネジメント団体: | か日刀で十分 確保できるよう |
| | 41 | + 1*/ | カレンナルをニー・エ | 1.04 | | <u> </u> | 引We Love 天神 | 抻協議st | 会、博多 | 駅均 | 也区:博多 | まちつ | づくり推進 | 協議会)に | 負担金を | 期な状態。 | 小水 で 小型小りについて | 神になってのかり |
| | | | のような状態にした | | と サンド と サンド | | 支出するとと | | | | メント団体 | のま | ちづくり事 | 業に対し | 関係者調 | • | | |
| 7 | | | により、都心部の射 や安全・安心の空 | | | しい景 手 | <u>、</u> 整などによる | 文抜を | 行つた。 | | | | | | | 継続 | | |
| 未 | 10000 | 112 120 | , , , , , , , , , | 1-1 - 11 - 1 | • | 段 | ž | | | | | | | | | 統 | | |
| 目的 | | | | | | | | | | | | | | | | 検討 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 1330 | カエ | デル・指標の資 | をお 申 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| Ė | | <u> </u> | ①活動7ウトプ | | | (2 | 結果アウトプット | | | 1 | | | ③中間7 | ウトカム | | | ④最終アウトカ | <u>L</u> |
| | | | (どんな活動を行 | うのか) | | | 結果、どうなる | | | | (そ | の結 | | よどうなるの | のか) | (その結 | 果、市としてど | |
| 事 | エリ | ノアマ | ネジメント団体に負 | 担金を支 | | | メント団体によ | | | II. | | | | や魅力の | | | 部の価値や関 | |
| 業 | | | 、エリアマネジメン 対し支援を行う。 | ト団体のま | | | 客促進活動、5 | 安全安 | ·心·環 | | リアマネ | | | | | | 市全体の競争 | 静力、集客力 |
| フ | り す : | ⊼ ।⊂≯ | 引し又版を刊り。 | | | 句上活動が こた。エリア | 進む。 マネジメント団 | ⊭₼≓ | ≒ → 8+ | | の改善の | リ好り | 盾塓か玍 の活動が | まれる(エ (エ <u>祭にた</u> | リアマネ | を牽引する | 00 | |
| | | | | | | が拡大する。 | | 1407日 | 1土別 | | 的に多様 | | | | | | | |
| | | | | | | 5 1147 () (b) | • | | | ľ | H 31 C 37 12 | N.O.1 | 12010-117 | | | | | |
| | | ± | 信標の内容 | | 実 | 績 | | 標 | | 成 | ti: t | 票の内 | b宓 | | 美 | 績 | |]標 |
| ジッ | | 31 | 日本のとう | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | | · · | 果の | | - | | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 |
| 2 | 活動 | ナリマ | マネジメント団体 | 目標 | 2 | : | 2 | R⁴ | 年度 | | 福岡都心あり訪れる | | | 目標 | 80.0 | 80 | .0 | R年度 |
| クモデ | 動 | - -77 | 数 | 実績 | 2 | : | 2 2 | | _ | 標 | があると | たへる 惑じる | 市民の | 実績 | 81.1 | 79 | .9 80.0 | _ |
| デル | 指上 | | | 達成率 | 100.0% | 100.09 | % | | | \hat{z} | 割合 | | | 達成率 | 101.4% | 99.9 | % | |
| | 標 | | | 目標 | | | | R⁴ | 年度 | K | | | | 目標 | | | | R 年度 |
| | | | | 実績 | | | | | | ľ | | | | 実績 | | | | |
| | | | | 達成率 | | | | | |) | | | | 達成率 | | | | |
| | = | | | | | | 事業区分 | | 重点 | | | | | | 事業費(千円) |) | | |
| | | | 基 | ţ | 本 | 計 | 画 | | | | | 令和 | 口3年度決 | 算額(見込 | .額) | | | |
| +4 | - /-/ | 18 | 主 4 | -6-2 | 施 ^{なし} | , | | | | | 1 | | 歳出台 | 計 | | | 15,335 | |
| 州 | | | | | | | | | | | | | 歳 特定 | !財源 | | | 6,588 | |
| 分 | 野別 | 目標 | 人と地球にやさしい、持続可 | 能な都市が構築さ | 成成 | | | | | | | | | :財源 | | | 8,747 | |
| | 施領 | | ストックの活用による地 | 区の価値や魅力 | カの向上指 | | | | | | | 前名 | | 頁•翌年度 ⁻ | | | • | |
| | 事業 | | | | | | | | 年度 | | R2 | | R 4 | | | | | |
| | 于 不 | 71 | エリアマネジメント | 27 JE XE | | | | | ł | | 歳出台 | | | 522 | 24,180 | | | |
| п | n≰⊓→ | - | <i>†</i> >1 | | 行政運営プラ | | | | | | | | 44-4 | | | | | |
| | 又組プ | | なし | | | | | | | | • | | ~~~ | 財源 | | 725 | 9,600 | |
| 扌 | 推進項 | 見日 | | | | | | | | | | | へ 一般 | :財源 | | 203 | 14,580 | |

| | | | | | 事務 | 事業マネジ | メントシ- | ート | (令和: | 3年度実施 | 色分) | | | | |
|------------------------|--------------|-----------------------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------------------|---|----------|-----------------|--------------------------|------------------|------------------------------|--------------|----------------------------|---------------|
| 重 | 業名 | 産学官民連携に | よる国際競 | 争力強化 | | | | | | きっかけ)は何 | | | | | |
| | | | | | | | | アと日 | 本の玄関ロ | であり、暮らし | の質の高さた | が世界から評価で 福岡の活力を維 | されている福岡ではないと | であるが、今後は | 大口減少など |
| | | 総務企画局企画 | | 12407 = 1 = 1 | - | なし | 一 景 によ | の柱海て、国 | 成長が衰退 際競争力をi | g る兄込みが 高め、地域経済 | める。った、 fをグローバ | 福岡の店力を福 ル化することで、 | アジアの内需を | 取り込んでいく | ことが必要であ |
| | 始年度 | 平成23年度 | 行政計画 | I | なし | | る。 | | | | | | | | |
| | 業概要 | | | | | 105-05-5 | = 11 \ + = 1 2 | - | -181 | | | | | | |
| | | 対象として行うのか |)\ | | | 令和3年度、 | | | | | | + %r m⁄2 + 14 ,\4 | 成しどのような。 | 状態になった | ら事業を終了 |
| 対 ^{fi} 象 | 晶岡都市[| <u>含</u> | | | | 地球戦略を 実協議会」に負 | 推進していく 担金を支出し | 、7こを)(| の座字目連 域の成長な | 望携組織であっ 宇現する質の | の高いプログラ | 戦戦略推進 ジェクトの | 果りのか、 | 又は継続する | |
| | | | | | | 施検討経費、コ | ンソーシアム | るの組 | 成支援、市 | i民や会員向 | けシンポジ | ウムの開 | | 圏が国際競争 も持続可能なり | |
| + | け会たじん | のような状態にした | こしのか | | | 内催経費などの | 支援を行っ | た。な | お、福岡市 | は正会員とし | て参画して | こいる。(負 | 期 | | B-74 C 0. 0 |
| | | は戦略推進協議会 | | いて 産学官 | '民が | 容 担金内訳:正 | 会貝牛会質 | : 300- | 十円、協負 | 金寺:34,/00 | + 14) | | 445 | | |
| | | って策定した「地域 | | | 争力を | 手 段 | | | | | | | 継続 | | |
| 目 ^{1/} | 情えたアシ | ジアで最も持続可能 | 能な地域と | なっている。 | | 段 | | | | | | | 検 | | |
| 的 | | | | | | | | | | | | | 検討 | | |
| | | | | | | | | | | | | | \sim | | |
| | ジックモ | デル・指標の遺 | 達成度】 | | | | | | | | | | | | |
| | | ①活動7ウトプ | | | | ②結果アウトブット | - 1: \ | | | 3中間 | | . | | ④最終7ウトカ | |
| | | (どんな活動を行 成戦略推進協議が | | | | の結果、どうなる ロジェクトが創出 | • | | | の結果、対象 コジェクトが構 | | | 福岡都市圏が | し、市としてどう バ声マジマのピ | |
| 事 | 個凹地域 | するために、4つの | 泉足した地) 部会を中/ | いとし | | 「BRへの共有が 同民への共有が | | - 11 | | コンエンドが帰 外から人と打 | | | | | さなどのビジネ |
| | てプロジェ | クト等の構築を行 | う。 | | | | | | | が達成される | | | ス交流拠点と | なり、多様な人 | し材が訪れ、 |
| | | や情報発信を通じ がら戦略を推進して | | の共有 | | | | | | | | | | 国際競争力を 能な地域とな | 備えたアジア |
| | [1]6"% | いり我喃で推進し、 | CU.\. | 7 | | | | - 17 | | | | , | て取る行物に | 形は地域とは | J (1.0° |
| | | | | 4 | ? 績 | 1 8 | 標 | 成 | | | | | E績 | F |]標 |
| ロリジ | | 旨標の内容 | 年度 | | R3年度 | | 最終年度 | | | 票の内容 | 年度 | <u> </u> R2年度 | R3年度 | R 4 年度 | 最終年度 |
| ツ | £ | | 目標 | - | | - | R 年度 | 一の | | | 目標 | - | | | R 年度 |
| | 助 | | 実績 | - | | | | 一指煙 | | | 実績 | - | _ | _ | |
| ックモデル | | | 達成率 | - | | - | _ | | | | 達成率 | - | _ | | _ |
| | 票 | | 目標 | | | | R 年度 | | | | 目標 | | | | R 年度 |
| | | | 実績 | | | | | 7, | | | 実績 | | | | |
| | | | 達成率 | | | | | Ú | | | 達成率 | | | | |
| | | | | | | 事業区分 | 重点 | | | | | 事業費(千円 |) | | |
| | | 基 | ţ | 本 | 計 | 画 | | | | 令和3年度》 | 央算額(見記 | ∆額) | | | |
| 拡合 | 策コード | 主 6 | -1-1 | 施 な | L | | | | | 歳出 | 合計 | | | 35,000 | |
| 加巴克 | マコート | 再 8-1-1 5 | 5-4-1 7 | -5-3 策 | | | | | | 歳特 | 定財源 | | | 0 | |
| 分野 | 別目標 | 経済活動が活発で、たくさん | んの働く場が生ま | 成 果 | | | | | | 入一, | 投財源 | | | 35,000 | |
| | 施策 | 産学官連携による、知 | 1識創造型産業 | 大の振興 指 | | | | | | 前年度決算 | 額·翌年度 | 予算額 | | | |
| 事 | | 知識創造型産業 | | 標 | | | | | | 年 | 度 | R2 | F | 24 | |
| | | | | 行政運営プ | ラン | | | | | 歳出 | 合計 | 35 | .000 | 35,000 | |
| 取 | 組方針 | なし | | | | | | | 1 | 歳特 | 定財源 | | 0 | 0 | |
| 推 | 進項目 | | | | | | | | 1 | | 投財源 | 35 | .000 | 35,000 | |

| | | | | | 事務事 | 業マネジ | メントシー | <u> </u> | (令和3 | 3年度実施 | 分) | | | | |
|---------|----------------------------|--|------------------|---------------|-------------------|-----------------------|----------------------------------|---------------------|---|---------------------------|--|---------------------|---------------------|----------------------------|---------|
| | 事業名 | グローバルスター | トアップ推進 | 事業 | | | | | | きっかけ)は何 | | | | | |
| | | | m +6 += A === =0 | | | | 背 スター | トア | ⁷ ップカフェ <i>た</i> | からの創業が6 | 81社を超 | えるなど、スター ローバル展開る | トアップの裾 | 野が広がる中 | 」、世界で通 |
| | 所管課 | | | 根拠法令 | | なし | ── 景 用する ── | o人: n 優 | メートアツノ 委かスター | を軍田するに トアップとの交 | めには、ク 流が可能 | ローハル展開るとなる環境の構 | ヒ兄甛て/に剧 築が急終 | 果や、巾内人: | メートアツノと |
| | 開始年月 | 1 111 | 行政計画 | | なし | | лдуго | / Q | .,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | 来77 心 功。 | | |
| | 事業概 | | | | | △100 ← ☆ | | | -1001.74 | | | | 1 | | |
| | |)を対象として行うのか | | * スの士!!! | | 一 | 日的達成に向 | けて | くとのような | 万法で何を行 | つたのか | | どのような | 状態になった | ら事業を終 |
| 対象 | 剧寒间 中小介 | 引もないスタートアップ、 ≥業の第二創業等 | 、剧耒才正在 | す、ての文技 | | | 昇を目指す市内スタート? | アップ | 、及び海外から福原 | 岡市への進出を図る外 | 国人創業者等を | 相互に支援する | | か、又は継続す | |
| 涿 | ' ' - | | | | 実 施 | ② 海外展開研修の実 | | 象に、氵 | 海外展開を意識した | た創業や海外ビジネスを | *実現させるため | 、海外展開研修 | | ヽら世界で通用 もなと輩出され | |
| | 116.4 | . 10 - 1 - 1. 1545 1 | | | 内 | 事業をオンラインで実 | | • | | | | 1 | トアップの | 先進的な技術 | /サービスの |
| | | どのような状態にした | | L L Q L * | | 福岡市内スタートア | ップの海外展開や、海外 | トスター | ートアップの福岡市 | 進出の相談対応、ビジ | ネスマッチング支 | 援を行う窓口を | | こよる既存企業 | |
| 事 | | ·バル展開を見据えた) 6発な状態。 | 割業や、海外 | トとのヒジネ | | ④ WEBやメールマガ | ジン等による福岡市施策 プや投資家等に向け、福 | | | | . WFB. SNS. ⊀- | ールマガジンによ | | 、が図られ、都 る状態になった | |
| 事業目 | \(\(\) \(\) \(\) \(\) | はんながら | | | 段 | る情報発信を実施。 ⑤ 国際ビジネスマッチ | | u1-3-1 | MESK (HET 17 17 | 1777 TEXT OFFICE | (1125(0110() | | 沉 | いただにな ノた | 物口 |
| 日 的 | | | | | | オンラインを活用し、 | 海外スタートアップ拠点 トアップコーディネーター | | | 祭ビジネスマッチングイイ | ベント「ASCENSI | ON」を開催。 | <mark>倹</mark> 討 | | |
| нэ | | | | | | | マッチング支援強化のた | | | 談に対応できるコーデ | ィネーターを設置 | i. | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u></u> | コジッ <u>/</u> | フモデル・指標の遺 | | | | 4+ EP 구스! ¬°! | | | | 61 | L: 1. | | | | |
| | | ①活動アウトプ (どんな活動を行う | | | | 結果アウトプット 結果、どうなる | | | (70 | ③中間ア゚ 3 結果、対象 は | | のか) | | ④最終アウトカム 、市としてどう | |
| | ①国内外の | Dスタートアップイベントへの参加やネスタートアップ拠点との連携 | | | 内スタートアップ | プの海外展開及 | び優れた技術 | h | | バル展開を見 | | | | する市内発 | |
| 事業フ | ③ 海外展 | ヘメ 「イブッン拠点との達扱 開研修プログラムの実施 、、ルスタートアップセンター(相談窓口 | 1)の設置 | | ナービスを持つシ ナを創出。 | 毎外企業の福岡 | 間市進出のきっ | ı | 高まり | | | | プの輩出や、 | . 海外スター | トアップの先 |
| ラ | ⑤ WEBや | ・ルステー・ファーにファー(日はは) メールマガジン等による福岡市施策等 ・ネスマッチングイベントの開催 | | | ルを刷出。 岡市で起業した | い外国人から | の相談が増加。 | | | ヌートアップに | よる海外 | | | | 取り込みによ |
| P | の国際につ | バルスタートアップコーディネーターの | 設置 | - 研 | 修参加者の海外 | 外展開に関する | 視座が向上。 | ۱Ţ | ネス交流 | 沽発化 | | | | の課題解決/ īの成長が促 | |
| | | | | - 1 | | | | " | | | | ' | 可り4で、11111 1 | 1071% <u>15</u> 71. NE | にこれる |
| | | 指標の内容 | | 実 | 績 | E | 標 | 成 | +6+= | の中容 | | 実終 | | 目 | 標 |
| ジッ | | 相保の内谷 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 | 果 | | の内容 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 |
| ク | 活 | タートアップイベント T | 目標 | 4.0 | 4.0 | | R6年度 | の 指 | | -トアップの海 | 目標 | 100.0 | 100.0 | | R6年度 |
| 풀 | 動 ^ の | 開催/参加件数 | 実績 | 8.0 | 14.0 | 4.0 | 4.0 | 標 | | i談件数 | 実績 | 257.0 | 246.0 | 200.0 | 300.0 |
| モデル | 指 | 1931Ex 2 (3)411 394 | 達成率 | 200.0% | 350.0% | | | J; | · · · · · | 1,12711 327 | 達成率 | 257.0% | 246.0% | | |
| Ü | 煙 | 外スタートアップ拠点 | 目標 | 15.0 | 15.0 | | R6年度 | N P | | | 目標 | | | | R 年度 |
| | | との連携数(延べ) | 実績 | 15.0 | 15.0 | | 16.0 | Ĺ | | | 実績 | | | | |
| | | | 達成率 | 100.0% | 100.0% | | | \smile | | | 達成率 | | | | |
| L | | | | | | 事業区分 | 重点 | | | | | 事業費(千円) | | | |
| | | 基 | | | | 画 | | | | 令和3年度決 | | (額) | | | |
| 林 | 施策コー | -K - | -1-1 | 加巴一人、 | 没事業所数(R | 86年度目標値 | [:1,200事業所 | / | | 歳出合 | | | | 75,482 | |
| | | 冉 /-4-1 8- | -3-1 - | * | | | | | | 歳特定 | | | | 0 | |
| 分 | 野別目 | 標 創造的活動が活発で、多様な人材 | が新しい価値を生み出 | している 成 | | | | | | 入一般 | 財源 | | | 75,482 | |
| | 施策 | 新たな挑戦を応援するス | | 120 | | | | | | 前年度決算額 | 要年度 | 予算額 | | | |
| | 事業群 | 「グローバル創業都 | 『市・福岡』の | 実現 標 | | | | | | 年度 | ŧ . | R2 | R | 4 | |
| | | | 行 | 」政運営プラ | シン | | | | | 歳出合 | 計 | 57,99 | 94 | 96,548 | |
| Į | 取組方針 | 計 なし | | | | | | | | 歳 特定 | 財源 | | 0 | 0 | |
| ‡ | 推進項[| 3 | | | | | | | 1 | 入一般 | 財源 | 57,99 | 94 | 96,548 | |

| | | | | | 事務事 | 業マネジ | | | | 3年度実施 | | | | | |
|-------------|--------------|---|------------|-----------------|---------------------------------------|---------------------|----------------------|---------------|-----------------|---------------------------|--|-----------------------|---|--|------------------------|
| | 事業名 | スマートシティ推議 | 進事業 | | | | | | | きっかけ)は何 | | | | 11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1 | |
| | | | | 21 in the state | | | 背 | 少子高齢 | 化の進展に | こよる社会課題 | また好して また紹治し | 、AIやIoTといっ 、あらゆる人が | た最先端の技術 | 術を暮らしや? 5.担フマート? | 街づくりの様々 |
| | 所管認 | | | 根拠法令 | | なし | | な場面で | 石田 タ るこャレンジして | ことで、仕去味起ていくことが必要 | となっため、 | このでする人が | 伏廻に春りせる | の他人(一下 | L云の夫現に |
| _ | 開始年 | | 行政計画 | | なし | | | | | | | , | | | |
| | 事業根 | t 安】 i)を対象として行うの <i>t</i> i | · · · | | | △和2年年 | 口价法 | ポルウルッ | こじの トニナ | >士はお何も年 | -t-0+ | | 100 1.74 | .l\&\:\ | ` = * + # - # = |
| 44 | | フを対象として行うのだ り技術を福岡市内で実 | | 八足問車業 | 女 生 | | | | | ♪方法で何を行 スを生み出すが | | | 成していまっていまするのか、 | 状態になった マけ継続する | ら事業を終了 |
| 対象 | | | ・皿・守八し/こ | .0.以间争未 | 実 | サポート。 | | | ス(申) グ | へを王が田 9 7 | | 皿 大 景で | 果少子喜龄化 | 上が進展する | 社会の中で |
| <i>></i> | | | | | 施 | | きを見据 | えた新技 | | た行政サービ | スの効率 | 化•高質化 | 終も、AIやIo | | |
| | 対象? | とどのような状態にした | こいのか | | 内 容 | に資する事 | 業を実施 | 沲。(年 間 | [20件] | | | | 期活用するこ | とで、質の高 | い行政サービ |
| 事 | | 舌力や先進的技術が導 | | 民が効率的で | | | | | | | | | スを持続的継 暮らせる環 | りに維持し、市 開きを保ってい | |
| 業 | 高い | 亍政サービスを将来に | 渡り享受でき | ている状態。 | 質の一・手段 | | | | | | | | 統一番のとの場 | 祝で休りてい | ·01/26° |
| 目的 | | | | | 段 | | | | | | | | 検 | | |
| 的 | | | | | | | | | | | | | 討 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | コジッ | クモデル・指標の過 | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①活動アウトプ (どんな活動を行 | ット うのかり | | | 結果アウトプット 結果、どうなる | | | (7 | ③中間7 の結果、対象に | | አ ው ተነ | | ④最終アウトカル 、市としてどう | |
| | 公民 | 重携ワンストップ窓口の | | 多 多 | の実証実験 | | 10711-7 | | | サービスの開 | | | 福岡市内で | | |
| 尹 | | | | | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | | | 1 | | サービスの市 | | | スマートサー | | |
| | | | | | | | | | | | | | 用され、質の | | |
| P | | | | | | | | | | | | 7 | 供され、市民 | が快適に暑 | らせている。 |
| | | | | | | | | " | | | | , | | | |
| | | 化構の中央 | | 実 | 績 | E | 標 | 成 | 46.4 | 那 の中間 | | 実 | 績 | E | 標 |
| ジ | | 指標の内容 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終 | 年度果 | 打目1 | 票の内容 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 |
| ック | 活 | 民間事業者等からの | 目標 | 100 | 100 | | R64 | 年度におおった | | 検採択数及び | 目標 | 85.0 | 100.0 | | R6年度 |
| モデ | 活 動 の | 相談件数(単年) | 実績 | 262 | 168 | 100 | 10 | 00 標 | 共働事 | 業実現数(累 =1) | 実績 | 110.0 | 142.0 | 115.0 | 145.0 |
| ア | 指 標 | | 達成率 | 262.0% | 168.0% | | | \sim | | 計) | 達成率 | 129.4% | 142.0% | | |
| | 標 | | 目標 | | | | R年 | F度 K | | | 目標 | | | | R 年度 |
| | | | 実績 | | | | | 1 | | | 実績 | | | | |
| | | | 達成率 | | | - N/C - 43 | | | | | 達成率 | | | | |
| | | | • | - | ı | 事業区分 | | 重点 | | A 5-0 5 | ************************************** | 事業費(千円 |) | | |
| | | 基 | | ├ | 計 i | 画 6年年日無佐 | . 1 000 | ** 記 / | | 令和3年度決 | | 込額) | | | |
| 方 | を策コ- | -14 | '-1-1 | 施 (新) | 文争耒/川剱(R | 6年度目標値 | : 1,200事 | ●耒川/ | | 歳出名 | | | | 1,131 | |
| | M7 | | :-5-1 | 一 | | | | | | 歳 | | | | 0 | |
| 分 | | 創造的活動が活発で、多様な人材 | | 果 | | | | | | | 財源 | | | 1,131 | |
| | 施策 | | | | | | | | | 前年度決算額 | | | | | |
| | 事業郡 | 羊 「グローバル創業者 | | | | | | | | 年度 | | R2 | R | | |
| | | | | テ政運営プラ | | | | | | 歳出台 | | 8, | 136 | 6,389 | |
| | 取組方 | | | | Ę | | | | | 74× | 財源 | | 0 | 0 | |
| | 推進項 | 目 ②AIやIoTなど先 | 進技術の活用 | Ħ | | | | | | 入 一般 | 財源 | 8, | 136 | 6,389 | |

| | | | | | 事務事 | 業マネジ | メントシー | | | | | | | | |
|-------------|---------------------------------|--|--------------|--|---------------------|------------------------------|-----------------------------|----------------------|--------------|----------------------|-----------------|----------|---------------------------|---------------------------------|----------------------|
| | 事業名 | 留学生支援事業 | | | | | | | | きっかけ)は何: | | 1++1-1 | て ++ 単田 ** | エロスキフ京英士 | ++ + 7 \ |
| | | (天) (株) (木) | <u>~~</u> == | 10 1hn >+ 2 | <u> </u> | #51 | 望 国と福岡 | との橋渡 | しをする | 人材として、留学: | 生が重要な存 | 在となっている。 | て、また、世界で活 そこで、優秀な留営 | 5躍できる局度人 学生の本市への身 | 材、めるいは出身 長積を促進すると |
| | 所管課 | 国際政策 | | 根拠法⁴ | | なし | ^京 ともに、本 | 市留学組 | 経験者を | 合め、地域におけ | る活用を図る | る必要があったた | め。 | | |
| _ | 開始年度 事業 振 亜 | 昭和63年度 | 行政計画 | | なし | | | | | | | | | | |
| 1 | 事業概要 | 」 対象として行うのだ | ή \ | | | 会和3年度 Ⅰ | 目的達成に向け | ナナドの | ようだ | 古法で何を行 | ったのか | | じの トラナ | 小と台にーナンニナー | こ事業もタフ |
| -5-4 | | スタイプ スタイプ スタイプ スタイプ (1) スタイプ | | | | | ロウミルに叫い 象とした有償の長其 | | | | 771207731 | | 190 エ フ ヘム | 状態になった 又は継続する | ら事業を終了 |
| 多 | 留学を検 | オーローエー 帰国で 討している海外の! | プロテエー 学生 | | 実 | 福岡での就職を | 希望する留学生等 | を、在留 | 資格の | 規制緩和も活用し | | | 本 | 市内での定着 | |
| <i>></i> | | 学生 市民 地元: | | | 施 | る地元企業に派∞ た。 | 遣するインターンシ | ツフ事業を | を実施し | 、留字生等の地方 | C企業への就 | 職を支援し | 終た、福岡は | | |
| | 対象をど(| のような状態にした | こいのか | | 内 容 | | オ団奨学金」による | | | | | | 期ネットワー | クが世界中で | 強化・拡大さ |
| - | | グローバル人材と | | 活用・定着を | | | と活用・定着を促進 | | | | バルコミュニ | ティ | * れ、福岡市 * ・ 活躍す | ゙ゕ゙゙ヷローバ | |
| 争 | | に、福岡ゆかりの | グローバル | 人材のネット' | フーク | FUKUOKA推進プロスタネタ 大学 | プラットフォーム」のi . 県などと構成する | 運営 「短岡道道 | 辺学生+ | +ポートセンター ロ | - おける海州 | ロクルート注 | 続て事業を組 | るまり」こなる 継続する。 | ことを日相し |
| 業目的 | の強化・拡 | 広大を図り、「グロー | | | | 動や就職支援の | 実施 | 油叫木 | # T I | / ハー・ピング 」、 | -0211, の畑ル | 17/10 | 検 | _,,,,,, | |
| 的 | ち」を日指 | していくことで、都 を発揮し、都市間競 | | | and lo | 〇スタートアップ | 奨学金事業 の海外留学と地元で | での創業・ | 対職の | 実現に向けた支援 | ≝を宝施した | | 討 | | |
| | (及世江 | | 近子にリシ | л Э С 0 · \ 0 | | | 型コロナウイルス原 | | | | | | \sim | | |
| Ţ | コジックモ | デル・指標の違 | 達成度】 | | | | | | | | | | | | |
| | | ①活動アウトフ | | | | 結果アウトフット | | | 4- | ③中間7 | | | | ④最終7ウトカム | |
| | | (どんな活動を行 zミナー等に参画し、福 | | の呼ぶん・密急 | | 結果、どうなる 学生が福岡市を知り、 | | · 2回 [5 | | の結果、対象は に職する留学生が均 | | (ימני | (その結果 ・福岡市が「グロー | 、市としてどう | |
| 事 | みを実施する | る。 | | 生が | 増加する。 生に対する市民の理解 | | | 地均 | 域での留 | 学生の人材活用で | を行うことがて | | となっている。 | | |
| 栗 | | ī民の交流を促進する。 €対象とした地元企業で | | ・既卒 | 空留学生等が、インター: | ンシップ事業により、自 又方の合意をもとに就職 | 分のスキル・志望に | | 「留学経 貢献する | 経験者が、福岡市に る。 | 二愛着を持ち. | 福岡市の発 | ・産学官が連携し 組んでいる。 | て、グローバル人 | 、材の育成に取り |
| | 業を実施する | る。 | | -帰国 | した留学生とのネットワ | フークにより、交流活動: 学し、グローバル人材と | が活発化する。 | •日本 | 人大学 | 生生がグローバルノ | 人材として福岡 | 岡市で就職ま | ・福岡ゆかりのグ | | ットワークが世界 |
| ΙĪ | ∥・ 本市留字紀 ∥ 行う。 | 圣験者を含む留学生とC | カネットワークを | 構築を | | 1007 - 70000 | 0 C H /%C10 00 | たば | 創業する | ం | | | 中に広がっている | 00 | |
| _ | ·日本人大学 | 学生の留学を促進する。 | | | + | | 1= | _6 | | | | | - A- - - | | 1= |
| ロジ | | 指標の内容 | 年度 | | 績 R3年度 | □ 日 R 4 年度 | | 成 果 | 指標 | 票の内容 | 年度 | ラップ R2年度 | ₹積 R3年度 | E R 4 年度 | │標 │ 最終年度 |
| 102 | | | 目標 | 5,533 | 4,103 | | 7017 1 60 | ~ — | 4 🗆 44 | の 士 5D 没 払 土 | <u>中皮</u> 目標 | 八乙十尺 | 八〇千皮 | 八十八 | R4年度 |
| ク | 一個両巾 | 方内の大学・短大 音する留学生数 | 実績 | 3,644 | 3,327 | 4.103 | 八十一及 | 指 50 元 | 外国 | の在留資格を 人の数(各年9 | 実績 | 5.988 | 5.970 | 4.000 | 八十八人 |
| デ | の (各年5 | 5月1日時点) | 達成率 | 65.9% | 81.1% | 4,100 | 4,103 | | 時点 | | 達成率 | - 0,000 | | 4,000 | 4,000 |
| | 指 | | 目標 | 00.070 | 01.170 | | R 年度 | \widehat{K} | | | 目標 | | | | R 年度 |
| | 1示 | | 実績 | | | | | P | | | 実績 | | | | |
| | | | 達成率 | | | | | | | | 達成率 | | | | |
| | | | <i></i> | | | 事業区分 | 重点 | | | | | 事業費(千円 |) | | |
| | | 基 | t. | 本 | 計 i | <u> </u> | | | | 令和3年度決 | | | <u> </u> | | |
| | | | 3-5-1 | - | | <u>ロ</u> 資格をもつ外 | 国人の数 | | | 歳出合 | | ид/ | | 5,009 | |
| 方 | を策コード | 再 - | 7 0 1 | | 4目標値:4,000 | | | | | 歳 特定 | | | | 0,000 | |
| | · 既见日捶 | 国際競争力を有し、アジア | のエデル都市とか | 成成 | | | | | | | | | | 5,009 | |
| 73 | | | | ────────────────────────────────────── | | | | | | | | 2.管括 | | 3,009 | |
| | 施策 | グローバル人材の育 | | | | | | | | 前年度決算額 | | | | 4 | |
| | 事業群 | グローバル人材の | | , | | | | | | 年度 | | R2 | 104 | | |
| | T- 40 41 | 4-1 | | 行政運営プラ | | | | | | 歳出合 | | 5, | 184 | 8,830 | |
| | 取組方針 | なし | | | | | | | | 歳特定 | | | 0 | 1,250 | |
| 3 | 推進項目 | | | | | | | | | ┃ 入 一般 | 財源 | 5, | 184 | 7,580 | |

| | | | | | 事務署 | 事業マネジ | ジントシー | · 卜 | (令和: | 3年度実施 | 分) | | | | |
|----------|--------------|--|--------------|--------------------|------------|---------------------------------------|--------------------|----------------|---------------------|--------------------------|------------------|-----------------|--|-----------------------------|-----------------|
| | 事業名 | 在住外国人の生 | 活環境整備 | Ī | | | | | | きっかけ)は何: | | | | | |
| | 尹禾石 | | | | | | 背 国際 (| 上の | 進展に伴し | ハ、在住外国人 | の生活情 | 級の収集・提供 | 共を中心に事業 | 開始。 | |
| | 所管課 | 総務企画局「 | 国際政策課 | 根拠法令 | | なし | 景 生活者 | うとし | しての外国 法を促進し | 人が増加してま ていく必要があ | らり、これま こ | での生活情報 | 報の提供等に加 | 1え、地域にお | ける外国人住 |
| | 開始年度 | | 行政計画 | Ī | なし | | 民之の | 火火 | 灬で促進し | ていて必安かめ |) ර ං | | | | |
| <u>[</u> | 事業概. | | | | | | | | | | | | | | |
| | | を対象として行うのか | | | | | | | | た方法で何を行 | | | 成どのような | 状態になった | ら事業を終了 |
| 対 | | ト国人(生活者として | の外国人) | | - | 〇多言語・や | さしい日本語に | によ | :る情報提供 | 供(生活ルール | マナー紹言 | 介) | 果 ダるいか、 | 人は胚就りる | ינגעטפ |
| 象 | 地域位 | ⊧氏 ト国人の支援者(日2 | 木色ボランラ | ティア生) | 実施 | | 、映像通訳の一音声翻訳アプリ | | | | | | | | 別でみると「留 |
| | | | | 1 / 寸 / | 内 | | | | | 返及びウェルカ 2 | ムキットの酉 | 记付 | 終学」が最も | | |
| | | どのような状態にした | | | 容 | ・音声による | る情報提供(ラ | ジオ | ^ト 、ポッドキ・ | ヤスト(R2~)] | . , , , , , , | | | 活ルール・マ | |
| 事 | 〇地域に 〇在住外 | おける外国人住民との交 | 流が促進され | 、相互に理解してし | | | 本語の活用推 | | | | | | 継 地域との3 | 交流を通じた相 | 目互理解の促 |
| 業 | ・日本の生 | 上活ルール・マナーや日オ | 本の制度を理解 | 解している。必要な | 情報に段 | | ける外国人住民 ちの推進 | ځ۷ | の交流支援 | <u> </u> | | | 続進など、総 | ፟፟፟፟፟፟続して実施す | る。 |
| 且 | アクセスできている。 | できている。生活に必要な | 日本語を学び | 、コミュニケーショ | がで | | | 本≣ | 善学習支援 | ፟[東∙中央∙城陸 | ≦•早良•邢 | i図1 | 検 | | |
| 的 | 〇日本人 | (地域住民) | | | | ",,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | 120317 0 11 | тти | | 1 7 7% | n + K = | , <u></u> , | 討 | | |
| | | る様な文化を理解し、外国 | | 無く交流できている | 0 | | | | | | | | | | |
| [[| コジック | モデル・指標の過 | | | | A | | | | | , | | | | |
| | | ①活動7ウトフ (どんな活動を行 | | | |)結果アウトプット 結果、どうなる | | ı | (2 | ③中間7 の結果、対象は | | 741 | | ④最終アウトカム !、市としてどう | |
| | - 生活情 | <u>【こんな冶助で1】</u> 「報や生活ルール・ 、 | • | 書報 1 - 在 | | 生活情報が | | Ь | | の転来、対象に が生活ルール | | | | が進み、外国 | |
| 事業 | 提供 | 1 TK (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | , , ,, ,, ,, | | -ル・マナー | | /HC \/II | I | | だる エルル パミ活・文化に慣 | | <u>.</u> 13 / . | やすく活動し | | |
| 未了 | | 語教室の開催。 | | - 在 | | 「日本語を学」 | న్ | | | が日本語を習 | | 本人とコ | | | まちは、外国 |
| フロ | ⊪・地域に | おける外国人住民の | との交流支 | 援 | 国人住民と | 交流する。 | | ľ | | ーションができ | | | 人材及び留 | | |
| ī | | | | | | | | | ·外国人 | 住民との相互 | 理解が進 | む。 | えし、福岡市 | iの活性化に | つながる。 |
| ~ | | | | | _ | _ | - 1 | | | | | | | _ | - 1 |
| ロジ | | 指標の内容 | 左曲 | 実行 | | - | 標 | 成 果 | TET | 票の内容 | 左曲 | _ | を持 るのである。 | | 標 |
| ッ | 116.15 | 成における外国人住 | 年度 目標 | R 2年度 10 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 R 年度 | 1ô | | | 年度 目標 | R2年度 | R3年度 - 96.5 | R4年度 | 最終年度 R6年度 |
| ク | | の交流支援した校 | 実績 | 4 | 20 | | 八十及 | 指 | U _ _=_ /\tau | 国人の住みや (どちらかと言 | 実績 | | 95.3 | | |
| クモデ | あ | 区数 | 達成率 | <u>'</u> | 30.0% | | _ | 標 | | (とららかと言 | 達成率 | | - 98.8% | _ | 現状維持 (95%以上を維持) |
| ル | 1H | 事業実施済のみ計 | 目標 | 40.0% 4,000 | 4,000 | | R5年度 | łκ | ` | | <u>達成學</u> 目標 | | - 39,000 | | R6年度 |
|) | 標市 | 主催日本語教室の | 実績 | 745 | 1,165 | _ | 八八十尺 | Р | 福岡市に | 住んでいる外 | 実績 | | - 35,399 | 40,000 | 110千皮 |
| | | 延べ受講者数 | 達成率 | 18.6% | 29.1% | - ' | 4,000 | П | 国 | 人の数 | 達成率 | | - 90.8% | 40,000 | 45,000 |
| | | | 足灰平 | 10.0% | 23.170 | 事業区分 | 重点 | \cup | | | | 事業費(千円 | | | |
| | | | . | 本 | <u>:</u> L | • | 上 | | - | △和2年度は | | | <u>, </u> | | |
| | | | | <u>本</u> i | 计 | はなめよさ!!! | 価(福岡市は「 | / 上 | | 令和3年度決 | | 領ノ | | 01.700 | |
| 旅 | 施策コー | · — | 3-8-1 | 施 ⁰¹ | すいと感じ | る在住外国人 | 画(猫画川ば の割合)(R3: | 江 | | 歳出合 | | | | 31,736 | |
| | | 再 - | | 元 659 | ó) | | | | | 歳特定 | | | | 861 | |
| 分 | 野別目 | | | 果!!! | | でいる外国人 | | | | 入 一般 | | | | 30,875 | |
| | 施策 | アジアをはじめ世界の人 | こも暮らしやすいる | まちづくり 指 (H2 | 8:29,000人、 | R4:39,000人) |) | | | 前年度決算額 | | | | | |
| | 事業群 | 外国人にも住みやすく活動しやす | いまちづくり(多文化井 | 生の推進) | | | | | | 年度 | Ę | R2 | R | 4 | |
| | | | | 行政運営プラ | ン | | | | | 歳出台 | 計 | 27 | ,810 | 38,823 | |
| Į | 取組方針 | | | | スの提供 | | | | | 歳特定 | 財源 | 2 | ,038 | 2,004 | |
| ‡ | 推進項目 | ④市民や企業な | どとの共働 | · 連携 | | | | | | 入 一般 | 財源 | 25 | ,772 | 36,819 | |

| | | | | | | 事務事業 | マネジメン | トシート | (숙 | 6和3年度実施分 | ·) | | | | |
|----------|------------|-------------------|---|---|--|----------------|---------------------------------|---|-----------------|---------------------------------------|---|----------------------------|----------------------|-------------------|------------------|
| | 車場 | 業名 | ビジネス展開に向 | 引けた国際貢 | 献・国際協力の | 推進 | | 事業を | 始め | かた理由(きっかけ)は何 | か | | | | |
| | # 7 | 未口 | | | | | | 背アジアの | の諸 | がおおけ、急激な経済成 | 長に伴う者 | 『市問題に | 直面している。 | 一方,福岡市 | は,「住み良 |
| | 所智 | 管課 | 国際協; | 力課 | 根拠法令 | | なし | ── │景 いまち [*] を図る: | | り」」のノウハウを持ってし 、 | いるため、 | 都市問題的 | ¥決に寄与する | ことにより、国 | 際貢献・協力 |
| _ | | 年度 | 平成24年度 | 行政計画 | | なし | | で図る - | 5 0) | 0 | | | | | |
| [] | 事業 | き 概要 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 対象として行うのか | יוֹ | | | | | | どのような方法で何を行 | | | | 状態になった | |
| 対 | | 外の諸都 | 都市 | | | — | 〇国際ビジネ | ス展開プラット | フォ | -ーム(PF)会員企業向け | 個別企業 | 相談会 | 楽 了するのか | か、又は継続で | するのか |
| 象 | 地 | 場企業 | | | | 夫 施 | を開催(R4.2) | でわいづい 古 | ~ +∃ | 技術職員を長期派遣実施 | : (U20.2 a. | 公业 公主) | | を通じた官民 | |
| | | | | | | | | | | M・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | 、和全市冗) | 終取組みから | ら派生し、民間 | 可企業が目発 ジネス展開に |
| | | | りような状態にした | | | 容 | | | | 系機関等との協議・連携 | | | 期的かつ恒温 | ものに国际に 状況となった場 | ノベス展開に 合、事業を終 |
| 事 | | | 良いまちづくり」を | | | | | | | 支援事業等採択支援 | | | 継了する。 | 1,500 0. 570 5 | |
| 業 | る社 | 都市問題 | 題解決に寄与する する。この取組みI | ことで、国際 | 夏献・国際協力で アロセログロタ B | を積極しませる。 | 〇水道・下水道 派遣(技術協力 | 直•環境などの | 分割 | 野における、JICA事業等 ^{また、} | による技術 | 村職員 | 続 | | |
| 目的 | アン | イタスを | りる。この収組の 向上させアジアで | こみり、テファ | うめるとともに、1 | 地場企 | | リバ担ヨ同に | し夫 | ≒加力 | | | 検討 | | |
| 的 | , 業(| のビジオ | スも含めた事業 | 展開をめざす | | | | | | | | | 討 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>[</u> | <u>コジ</u> | <u>ックモ</u> | <u>デル・指標の</u> 違 | | | | | | | | | | | | |
| | | | ①活動7寸 | | | | 結果アウトプット | 247 | | ③中間7ウ | | .4.5 | (スの針甲 | ④最終アウトカノ | 1 1 |
| | - - | 国際ビジ | (どんな活動を ネス展開プラットフォーム(P | | \ | | 店果、どうなる (∈地域・ローカル企業と | | ١ - | (その結果、対象は ・ODA等の案件形成 | こつはるい | נימי | ・官民連携したの | 、市としてどう | |
| 事 | · | 関係分野(| におけるJICA事業等に | こよる技術協力 | れる | , | | | М | ·PF会員企業の海外展開案 | 件形成 | | 業の海外ビジネス | 展開が加速。 | |
| 果 | · [] | 関係構築: 海外への | が進んだ地域を対象と | とした海外ビジネス 5.从諸郑市の情 | 双展開活動 ・ | | JICA等関連機関と | この関係が強化 | | ・福岡市の「住み良いまちづく 諸都市の都市問題の解決 | くり」を活かし | た海外 | ・アジアにおける 上させ、存在感か | | 度・ステイタスを向 |
| フ | " | | 職員派遣継続、及び》 ,国際機関等を通じた | :視察•研修受入 | | DA案件受注に向 | リけたノウハウが蓄積 | | | | | | 工CE、TIELES | E 6 0 0 | |
| P | 報記 | | 多受入による海外諸都 | 市の情報収集を | | |)視察・研修の申し -ズに沿った視察・ | | 7 | | | | | | |
| ~ | 把提 | | | | | | | | | | | | | | |
| ロジ | | 排 | 信標の内容 | | | | 目 | - | 成 | 指標の内容 | | | 実績 | - | 標 |
| リツ | | | 国際ビジネス展 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R 4 年度 | 70.17 1 100 | 果の | 7F.W. 1.17E | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 |
| ク | 活動 | | ットフォーム会員 | 目標 | 8 | 5 | | R 年度 | 指 | 地元企業の海外ビジネ | 目標 | 5 | _ | • | R 年度 |
| モデ | 別の | 企業と | の連携活動件数 | 実績 | 5 | 3 | 5 | _ | 標 | ス展開件数(累計) | 実績 | 5 | | 6 | _ |
| ル | 指 | | (単年) | 達成率 | 62.5% | 60.0% | | | \sim | | 達成率 | 1 100 00 | 83.3% | | |
| - | 標 | 海州 | 11 41=14 1 - 144 | 目標 | E 01/ | | | | K F | | | 100.0% | 00.070 | | |
| | | | .技术協力日数 | | 5,814 | 6,979 | | R 年度 | K P | | 目標 | 100.07 | 30.070 | | R 年度 |
| | | /# ² } | ·技術協力日数 (累計) | 実績 | 5,786 | | 7,522 | R 年度 - | K P I | | 目標実績 | 100.0% | 00.0% | | R 年度 |
| | | /母グト | ·技術協力日数 (累計) | | | | 7,522 | R 年度 - | KPI) | | 目標 | 100.0% | 00.0% | | R 年度 |
| | | /毋 ク ト | | 実績 | 5,786 | 5,860 | | - | K P I | | 目標 実績 達成率 | | | | R 年度 |
| | | 神の下 | (累計) | 実績達成率 | 5,786 99.5% | 5,860 84.0% | 事業区分 | R 年度 - 重点 | K P I > | 令和3年度決 | 目標 実績 達成率 | 事業費(千円 | | | R 年度 |
| | | | (累計) | 実績達成率 | 5,786 99.5% 本 言 | 5,860 84.0% | | - | K P) | 令和3年度決 | 目標 実績 達成率 | 事業費(千円 | | 1 735 | R 年度 |
| | 拖策: | | 基主 | 実績達成率 | 5,786 99.5% 本 施 | 5,860 84.0% | 事業区分 | - | K P I) | 歳出合 | 目標 実績 達成率 写額(見込 | 事業費(千円 | | 1,735 | R 年度 |
| | | コード | (累計) 基 主 再 - | 実績 達成率 8-6-1 | 5,786 99.5% 本 施 ない また | 5,860 84.0% | 事業区分 | - | KPI) | 歳出合 歳 特定 | 目標 実績 達成率 算額(見辺 計 財源 | 事業費(千円 | | 224 | R 年度 |
| | 野別 | コード・引目標 | (累計) 基 主 再 a際競争力を有し、アシ | 実績 達成率 8-6-1 ジアのモデル都市 | 5,786 99.5% 本 施 策 はい ない まない よない まない よっている 果 | 5,860 84.0% | 事業区分 | - | K P) | 歳出合 歳 特定 入 一般 | 目標 実績 達成率 算額(見辺 計 財源 | 事業費(千円) | | | R 年度 |
| | 野別施 | 引目標の策 | (累計)基主再 -国際競争力を有し、アシアの諸都市などへの | 実績 達成率 8-6-1 ジアのモデル都市の の国際貢献・国際 | 5,786 99.5% 本 施策成果 協力の推進 | 5,860 84.0% | 事業区分 | - | K P I) | 歳出合 歳 特定 入 一般 前年度決算額 | 目標 実績 達成率 算額(見辺)計 財源 財源 | 事業費(千円)、額) | 3) | 224 1,511 | R 年度 |
| | 野別施 | コード・引目標・3策 | (累計) 基 主 再 a際競争力を有し、アシ | 実績 達成率 8-6-1 ジアのモデル都市の の国際貢献・国際 | 5,786 99.5% 本 i 施策成果 はみの推進 協力の推進標 | 5,860 84.0% | 事業区分 | - | KPI) | 歳出合 歳 特定 入 一般 前年度決算額 | 目標 実績 達成率 算額(見辺 計 財源 財源 | 事業費(千P A額) 予算額 R2 | F) | 224 1,511 | R 年度 |
| | 野別施 | 引目標の策 | (累計)基主再 -国際競争力を有し、アシアの諸都市などへの | 実績 達成率 8-6-1 ジアのモデル都市の の国際貢献・国際 | 5,786 99.5% 本 施策成果 協力の推進 | 5,860 84.0% | 事業区分 | - | K P I) | 歳出合 歳 特定 入 一般 前年度決算額 | 目標 実績 達成率 算額(見辺 計 財源 財源 | 事業費(千P A額) 予算額 R2 | 3) | 224 1,511 | R 年度 |

一般財源

10,987

24,301

推進項目

| | | | | | 事務事 | <u> 業マネジ</u> | | | | 3年度実施 | | | | | |
|------------|-------------|---------------------------|-------------------|---|---------------------|--------------------------|----------------|------------------|--------------------------|----------------------|------------------------|------------|---|---|---------------|
| | 事業名 | 国際視察•研修员 | 受入事業 | | | | | | | きっかけ)は何 | | / | (Dr h | U+ >= >+ | |
| | 于不山 | | | | | | | | | | | | 程において、環 うな中、本市で | | |
| | 所管課 | 総務企画局国際部 | | 課 根拠法令 | | なし | 寺の | 課題 | 解決を続け | けていたことか | ら、本市の | ノウハウや経験 | 険をアジア地域 | の諸問題の | 解決に貢献し |
| | 開始年度 | 平成21年度 | 行政計画 | | なし | | たいと | と考え | えたもの。 | | | | | | |
| | 事業概要 | _ | L, | | | △和○左曲 | ロめきせにと | 14- | こじの トミナ | \+\+ <i>~\\\</i> | - + 0+ | | 180126 | Ibabba to t | > |
| | | 対象として行うの が 久国 | טי. | | | 守和3年度、 <実施主体〉 | | JIT (| くとのような | は方法で何を行 | 「つたいか | | 队 ナェのム | 状態になった 又は継続する | :ら事業を終了 |
| 対象 | | TE | | | 実 | | | 研究 | 克所(URC) | と覚書を締結し | した上で、後 | 没割分担を | | | ランに位置付 |
| 250 | | | | | 施 | 決めて事業を | と実施している |)。(<u>1</u> | 全額負担金 | ≩事業) | | | 終けられてい | る事業である | ることから、基 |
| | 対象をど | のような状態にした | たいのか | | | | ≅施内容> | | | | | | 期本計画の | 改定時期(令₹ ○業の在り方を | 和7年)に合わ |
| 事 | 〇本市の | 持っている知識や | 技術を学び | 、自国の課題 | I <mark>解決</mark> へ | ・コロナにより | り海外からの | | 入れが出 | 来なかったため | 、オンライ | ンによる | 継定。 | 未の任り力で | がありるり |
| 業 | | けることができてい 通じて、福岡市との | | まわ 木市 | 事業 | | | | + 7 国内は | トへの広報の3 | 5宝改ルた | 行った | | | |
| 目的 | やビジネ | 足に活かされてい。 スに活かされてい。 | カ系がウルユ る。 | -0400 4011 | | | | | | 内容の充実、 | | | 続 検 討 | | |
| H.J | 〇 アジア | '各国における福岡 | 間市の知名度 | をがあがり、福 | 岡市 | ドの見直し等 | -) | | | | | | 副 | | |
| | | が増えている。 | ± <u></u> + + 7 | | | | | | | | | | | | |
| | コンツクモ | <u>デル・指標の〕</u> ①活動7ウトフ | | | 9 | 結果アウトプット | | | | ③中間7 | ' ስ ኤት <i>և</i> | | | 4)最終アウトカ. | l. |
| | | (どんな活動を行 | | | | 結果、どうなる | | | (そ | の結果、対象に | | つか) | | 、市としてど | |
| | |)掘り起こしを行う 国々の関係者に事業 | 坐の安山た に | | | 関係者が事業案 して、本事業の | | | •相談者と | 受入局(所管課イン研修)が決定 | と調整を行 | い、受け入 | アジアの国々び、自国の課題 | | |
| 事 | | 国々の関係有に事ま 『係機関等を通じて事 | | | | CC、本事来ので SURCに研修ので | | 11 | | 1つ研修)が決り じて、福岡市の: | | を学ぶ | る。日国の味趣 | !胜次に応いり | いることかでき |
| 業 | | トームページに研修 所管課)の情報を収 | | | | | | 17 | 研修を通れる | じて、福岡市の | 関係者と繋が | がりが生ま | 研修を通じて、がりが生まれ、 | | と福岡市との繋 |
| フロ | 修ガイドの |)更新(見直し)を行う | 、未し、国际 * 1.)。 | 7. T. | | | | 1 | | ことで、福岡市の | の自然や文化 | と等を知る | れる。 | | |
| Ī | | | | | | | | | | | | | アジア各国に がり、福岡市へ | | |
| <u>_</u> | | | | | | | | | | | | | | 0) /((// (// (/ // / | V 0 |
| ジッ | | と挿の中衆 | | 実 | 績 | E | 標 | 成 | +5+ | 悪の中容 | | 美 | 績 | E | 標 |
| ツ | | 指標の内容 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R 4年 度 | 最終年度 | 果 | : | 票の内容 | 年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終年度 |
| É | 活 動 | JRCで相談を | 目標 | _ | _ | | R 年度 | 】の ↓ 指 | | 修受入人数 | 目標 | 1,400 | 1,540 | | R6年度 |
| デル | 動 の | 受けた件数 | 実績 | 3 | 14 | _ | _ | 標 | 120734.71 | ライン含む) | 実績 | 175 | 667 | 1,700 | 1,700 |
| [] | 指 指 標 | | 達成率 | | _ | | D 4-+ | - ̂ κ | | | 達成率 | 12.5% | 43.3% | | , |
| | 標 | | 目標 | | _ | | R 年度 | - P | 受講者 | 皆の満足度 | 目標 | - 未実施 | 01.00/ | | R 年度 |
| | | | 実績 達成率 | | | | | | (大変 | 有益+有益) | 実績 達成率 | 不关心 | 91.8% | _ | _ |
| | | | 建 极平 | | | 事業区分 | 重点 | | | | | 事業費(千円) | | | |
| | | 基 | t. | 本 | 計 | <u> デポピパ</u> 画 | | | i | | | | | | |
| | | | 3-6-1 | - | | <u></u> 人数(R4目標値 | 直:1,700人/年 | .) | 1 | 歳出名 | | . иж/ | | 3,779 | |
| 旅 | を策コード | 再 - | | | | | | | | | 財源 | | | 0 | |
| 分 | ·野別目標 | | のモデル都市となっ | 、ている 成 | | | | | | 7920 | 財源 | | | 3,779 | |
| | 施策 | アジアの諸都市などへの国 | 国際貢献・国際協力 | の推進 | | | | | | 前年度決算額 | | 予算額 | | | |
| | 事業群 | ビジネス展開に向けた国 | 際貢献·国際協力 | 425 | | | | | | 年月 | ŧ | R2 | R | 4 | |
| | | | | 行政運営プラ | シン | | | | 1 | 歳出名 | 計 | 4, | 909 | 4,040 | |
| Į | 取組方針 | なし | | | | | | | | 歳特定 | 財源 | | 0 | 0 | |
| ŧ | 推進項目 | | | | | | | | 1 | | 財源 | 4, | 909 | 4,040 | |